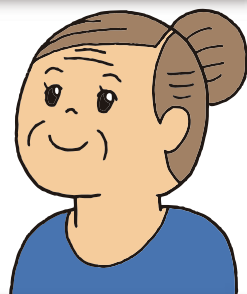


認知症の人にはどう接したらいいの？

認知症の人は何もわからないのではなく、最初に症状に気づき、不安になって苦しんでいるのは本人なのです。認知症を正しく理解し、本人の気持ちになって、さりげなく自然で優しいサポートを心がけましょう。



認知症の人への対応の心得 〈3つの「ない」〉

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

症状別対応方法の例



1. もの忘れ

例：食事が済んだばかりなのに「食べていない」と繰り返し言う

⇒認知症の人は、昔のことは覚えていても、新しいことは覚えられないことが特徴です。本人は、初めて聞いたり、言ったりしていると思っています。

○こんな時は

同じことでもゆっくりと話を聞いたり、繰り返し答えたりしましょう。

「次の食事は何時です」とか「今、食事の準備をしていますから、待っていてください」など、ていねいに説明し、納得していただくことが必要です。

×好ましくない対応

「さっき食べたでしょ!」「同じことばかり言わないで!」と強い口調で叱る。

「対応方法」

